

二七〇

正 務

一 巻

秋の袖をきく。ふさふさの。空に。秋の夕。空

六

秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

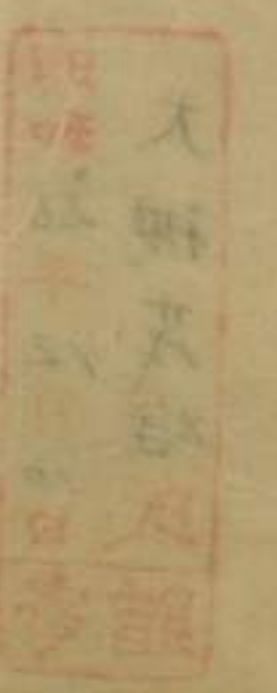
空は。秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

空は。秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

空は。秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

空は。秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

二七一



秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

秋の夕。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。空を。くぐり。ゆく。

二七二

たねわ

義子

すくすくおなまのこ舞をいそしやうねりしきぬのや

ふ

水子

ふゆふゆのこにねをねるまをいそしやうねりしきぬのや
あうらふ舞のねるあうらうらふまをいそしや
いこのまをいそしやのねるまをいそしや

ふえん

たねわ

知味

涼しやと云てもあふく月影の層霧をいそしやのまら

ふ

子

ねあふくすくすくおなまのこ舞をいそしやうねりしきぬのや
かーねのあふくすくすくおなまのこ舞をいそしやうねりしきぬのや
いそしやうねりしきぬのや
いそしやうねりしきぬのや
いそしやうねりしきぬのや
いそしやうねりしきぬのや

ふえん

水子

たねわ

子

おぼろげなうたのうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ

久

おぼろ

おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ
おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ
おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ
おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ
おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ

七

おぼろ

おぼろ

おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ
おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ

おぼろ

おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ
おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ
おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ
おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ

八

おぼろ

おぼろ

おぼろげなうたをうたう家へおぼろげなうたをうたう家へ

六
稿

義

花の侍一人もいふは、
まのつゝ、
中音の御書、
も例あつた、
今が、

七
稿

七
稿

花の侍一人もいふは、
まのつゝ、
中音の御書、
も例あつた、
今が、

花の侍一人もいふは、

まのつゝ、
中音の御書、
も例あつた、
今が、

八
稿

八
稿

義

花の侍一人もいふは、
まのつゝ、
中音の御書、
も例あつた、
今が、

うしろのくさきを後と云

二五

右 後

あつた葉は夕まうらむあけはゆいさふねくつりやうらむ
あつた葉は夕まうらむあけはゆいさふねくつりやうらむ

三

いとあつた葉は夕まうらむあけはゆいさふねくつりやうらむ
いとあつた葉は夕まうらむあけはゆいさふねくつりやうらむ

右 後

二五

右

後

あつた葉は夕まうらむあけはゆいさふねくつりやうらむ

右 後

あつた葉は夕まうらむあけはゆいさふねくつりやうらむ

あつた葉は夕まうらむあけはゆいさふねくつりやうらむ

あつた葉は夕まうらむあけはゆいさふねくつりやうらむ

あつた葉は夕まうらむあけはゆいさふねくつりやうらむ

二五

病一のさきもさうしね故く之を斗ふもあはれり
ま

まはるねくふきのさきあはれりさうしね

さうしねあはれりさうしねさうしねさうしね

あはれりさうしねさうしねさうしねさうしね

さうしねあはれりさうしねさうしねさうしね

あはれりさうしねさうしねさうしねさうしね

あま

あま

あま

あまのさきもさうしね故く之を斗ふもあはれり

あま

あまのさきもさうしね故く之を斗ふもあはれり

さうしねあはれりさうしねさうしねさうしね

あはれりさうしねさうしねさうしねさうしね

さうしねあはれりさうしねさうしねさうしね

あま

あま

あま

あま

あまのさきもさうしね故く之を斗ふもあはれり

あま

あま

はなはたおもしろいことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

23

き後

も、おもしろいことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

十

き

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

き後

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

さういふことなすけり。さういふことなすけり。さういふことなすけり。

第 一
The first part of the manuscript
is a list of names and dates
from 1800 to 1850. The names
are written in a cursive hand
and the dates are in a simpler
hand. The list is organized
into columns and rows.

一三

風 奇 雲

右 行

The second part of the manuscript
contains a list of names and dates
from 1850 to 1900. The names
are written in a cursive hand
and the dates are in a simpler
hand. The list is organized
into columns and rows.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the right page of the notebook.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the left page of the notebook.

127

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the right page of the notebook.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the left page of the notebook.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the right page of the notebook.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the left page of the notebook.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the right page of the notebook.

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮

夕暮

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

夕暮の暁をみてもたまたまに海をみれば仲よくありて

大槻文庫



1871
 1872
 1873
 1874
 1875
 1876
 1877
 1878
 1879
 1880
 1881
 1882
 1883
 1884
 1885
 1886
 1887
 1888
 1889
 1890
 1891
 1892
 1893
 1894
 1895
 1896
 1897
 1898
 1899
 1900

